

レジオネラ症ってどんな病気？

兵庫県加古川健康福祉事務所

2026年4月30日作成

1. どんな病気？

川や湖、温泉や土など、どこにでも生息しているレジオネラ菌という細菌による感染症です。

以下のとおり重症のレジオネラ肺炎、軽症のポンティアック熱の2種類があります。

	潜伏期間	症状	特徴
レジオネラ肺炎	2~10日	だるさ、頭痛、食欲不振、筋肉痛 咳、痰、38℃以上の発熱、悪寒、 胸痛、呼吸困難 下痢、四肢のふるえ等神経症状	急速に症状が進行することがあり、時には命にかかわる
ポンティアック熱	1~2日	発熱、悪寒、筋肉痛	軽症で自然に治ることが多い

感染してから発症するまで

2. どうやって感染する？

レジオネラ菌に汚染されたエアロゾル（細かい霧やしぶき）を吸いこんで発症します。

主に入浴施設（温泉や銭湯など）、加湿器、冷却塔水、腐葉土からの感染が報告されています。

ヒトからヒトへ感染することはありません。

3. どうやって対策する？

一度感染しても免疫はつかず、また感染する可能性があるため以下のような予防が大切です。

- 加湿器やお風呂は毎日水を入れ替えて、掃除をしましょう。
汚れや「ぬめり」を落とせば、レジオネラ菌が増殖しにくい環境にできます。
- レジオネラ菌は20~45℃で増殖しますが、60℃以上で殺菌できます。
加湿器の中でも「スチーム式」、「ハイブリッド式」は感染源になりにくいとされています。
- 農業や園芸など、土を扱う作業をする場合は粉じんを吸い込まないようにマスクを着用しましょう。
- 免疫機能が落ちていると重症化しやすいので注意が必要です。規則正しい生活を心がけましょう。

2016年~2025年(10年間)
加古川管内における月ごとの報告数



2016年~2025年(10年間)
加古川管内における年齢ごとの報告数

